

以心伝心

～リレー随筆～

Vol.41

國本豊社会保険労務士事務所
所長 國本 豊



私のワークライフ バランス

はじめまして。社会保険
労務士(社労士)の國本豊と
申します。社労士というて
も、どのような仕事かご存
知ない方も多いでしょう。
一言ではなかなか言い表せ
ないくらい業務範囲は広い

のですが、簡単に書くと、
人を雇ううえで必須の労働
及び社会保険の諸問題に関
する経営者のサポート役的
存在です。組織の知恵袋と
して活用していただければ
と思います。

さて、仕事紹介はこのく
らいにして、皆さんはワー
クライフバランスという言葉
をご存知でしょうか？ワー
クライフバランスは「仕事
と生活の調和」という意
味です。要は「仕事もブラ
イベートも共に充実させよ
う」ということです。そ
こで私の場合ですが、「ワー
ク」はもちろん社労士業
です。そして「ライフ」は
農業を考えています。

実は我が家は兼業農家
で、畑と田んぼを所有して
います。会議所会員さんで
農業をやっている人はそん
なっていないのではないでし
ょうか？

とはいっても、今は母親
がフルタイムで働きながら
その合間にやっております(仕
事から帰った後や休みの日
等)、私は周辺の草を刈つ
たり田んぼを少し手伝うく

らいで、自分で農業をやつ
ていると言えるレベルでは
ありません。しかし近い将
来、私が後を継がないとい
けない日が来ます。農業で
商売をする規模ではありません
せんし商売する気持ちもあ
りませんが、それだからこ
そ「ライフ」として農業を
するのです。

こんな私ですが、7年前
まで地元を離れていた頃は
農業をする気はありません
でした。しかし、地元に戻
って親の働き姿を見て「自
分が後を継がないといけな
い」という意識が芽生えて
きました。この思いは、ご
両親の事業を継がれる会議
所会員さんと共通する部分



かもしれません。

もちろんワークライフバ
ランスの「ライフ」を行う
ためには、「ワーク」であ
る社労士業を充実させるこ
とが第一です。「ワーク」
が充実してこそその「ライ
フ」です。そのためには、自
分のキャパシティを広げな
いといけません。現状、自
分のキャパが100とする
と全て社労士業に費やして
います。そのキャパを20
0に広げて(もちろん広げ
れば広いほどいいです)、
9対1の割合で社労士業と
農業を行います。そうすれ
ば今まで以上に社労士業も
行うことができますし農業
の時間も作れ、結果として
両方の充実が図れます。し
かし、これは並大抵のこと
ではありません。時間の使
い方、仕事の進め方、生活
の仕方全てを改善してい
かないといけません。それ
でもやってみなければなり
ません。

今は元気で仕事をしてい
ても、いつか仕事を終えな
いといけないときに誰にも
やって来ます。しかし仕事

リタイヤ後も人生は続きま
す。その時点で次にやるこ
とを探すのではなく、元氣
なうちから何か準備をして
おくことも大切なものでは
ないでしょうか。

